

萬國道路會議に就て

江 守 保 平

今秋十月六日から一週間にわたり米國の首府ワシントンに於て催される第六回萬國道路會議には主催者たる米國の政府は元より各國とも擧げてその代表者を此會議に送り與へられたる議題について協議を行ふ筈で色々面白い意見も出るだらうし議論にも花が咲き今からその盛況が期待される。又我國にとつても漸く行詰つた道路問題に對し此會議が何等かのヒントを與へてくれるであらう。實に此會議は道路財政の問題、鐵道對自動車若しくは自動車専用道路の如き道路政策上の問題につきその世界的趨勢を知るによい機會であるし又技術の方でも最近擡頭してきた米國の簡易鋪裝の問題や又最近發展して來た南米道路問題など我國の現狀に照し興味あることは少くない。

抑も第一回萬國道路會議の始めて催されたのは既に一九

〇八年に屬し佛國政府の主催でパリに催されたのであるが爾來定期的に此種會議をおこなうため各國の賛同を得て萬國道路會議組合 (Association Internationale permanente Des *Congres de la Route*) なるものを組織した。その後第二回目の會議は一九一〇年にベルギーのブラツセルで又第三回目は一九一三年に倫敦で舉行された。それから暫くは歐洲大戰のため中絶して居たが十年後の一九二三年に至つて第四回目の會議がスペインのセビルで再び催されたのである。此時分から漸く自動車の進出で問題も多くなつて來たが第五回目の會議が伊太利のミランで開かれたのは今から四年以前の一九二六年のことでまだ我々の耳朶に新しい所である。今回一九三〇年の會議は即ち第六回目に相當する。

此萬國道路會議が一番始め巴里で開かれた關係から會議

の常任幹事はフランス側から出すことになり現在はガブリアン教授 (M. Le Gavrian) が幹事として巴里にその事務所をおいて居る。此外理事としては各國からその代表者を任命し本會議の有無に係らず毎年一回必ず理事會を開いて根本方針を決めて居る。我國でも此理事會に議席を有し内務省土木局長が任命されてゐる。又本會議には大抵二三名宛内務省から派遣されて居るが現に第四回目の會議には技術者側で佐藤利恭氏が又第五回目には牧野雅樂之丞氏が出席して大いに氣を吐いて居る。

本道路會議の目的とする所はその定款第一條にもある通り道路技術並に道路交通問題の進歩發達を圖るにあるので此目的を達する第一手段としては數年毎に一回萬國道路會議を順々に開いて各専門の問題について協議をなし同時に意見の交換を行ふことである。第二には道路問題に關して諸種の出版物を刊行することである。現在その最も主なるものはブレチンの隔月出版で會務の報告その他道路に關する研究の發表に充てゝ居る。第三の手段としては技術研究

の國際的聯絡を圖ることで不定期に(餘日)論文の發表等を獎勵してゐるが現在行なつてゐる三年目毎の研究論文の懸賞募集などもその一つと云へやう。

ミランに開かれた第五回目の道路會議の席上米國政府は次回の會議を米國に於て開催することを提議して入れられ四年間の機が熟して今回の擧となつたのである。會議開催の議が決定するや直ちに米國政府は中央自動車商業會議所會頭チャピン及政府道路局長マクドナルド兩氏を首班とする準備委員會を任命した。今回の第六回道路會議のプログラムは此準備委員會とパリに於ける理事會とが協議の上決定したものである。

今回の會議は十月六日の月曜日から同十一日の土曜日にわたる一週間ワシントン市で開かれるが先づ十月六日は發會式を憲法記念館で舉行しフーバー大統領も臨席する筈になつてゐる。其後は會議が二部の部會にわかれ十月十一日の閉會式まで毎日同市商業會議所内講堂に於て催される。第一部會は道路構造維持に關し第二部會は道路交通及管

理に關するものであるが次の如き議題が擧げられてゐる。

第一部 道路構造及維持

議題一 (イ)セメント (ロ)煉瓦その他人造鋪裝材料の

何れかを用ふる道路築造法

議題二 タール、ビチユーメン、又はアスファルトを道

路築造に使用する最新工法

議題三 殖民地その他未開地方に用ひらるる最新道路築

造法

第二部 道路交通及管理

議題四 (イ)道路築造及維持に於ける財政問題

議題五 道路の交通状態。道路交通と一般交通機關との

關係。一般社會の道路交通利用

議題六 (イ)大都市及その近郊に於ける交通整理。交通

信號。都會地街路構造に對する交通上の要求。

(ロ)道路車輛の駐車問題及駐車場。

之等議題は第五回目會議の席上で提案されたもので今回の會議迄に各國共之に相當する解答を提出しなければなら

ない。自國內に於ける之等の問題を研究するため各國政府は數名の委員 (Raporters) を任命し報告書の作成にあたりしめ、會議開催前數ヶ月前に巴里の理事會に提出されるのである。英米佛その他では各々數十名の委員の手によつて此報告書が出されたが我國では今回の會議には委員を任命しなかつた様である。會議の席上では之等各國の委員若くは各代表者が議題に關し協議討論をなし最後に道路會議としての結論作成に到着するのである。此結論は討論の經過及會議の報告等と共に後にプロシーデングの形で出版される筈である。

萬國道路會議の開期中は本會議の外各地の視察旅行各方面の招待會等が頻繁に行なはれる。即ちワシントン市中の視察、近郊マウントバーノンに於ける國父ワシントン古蹟の視察等であるが特にアーリントンに於ける道路局中央研究所は精細に見學を遂げる筈である。其他の見學又は招待會は隨時發表せらるることにならう。

又道路會議の會期中別に盛大なる道路博覽會が催される

ことになつて居る。之はアメリカ道路協會 (American Road Builders Association) の主催するもので道路に關係ある有益なる出品物を多數陳列する筈であるから一目して世界の道路状態を觀察することが出來やう。

十一日に本會議終了してから今度はアメリカ自動車協會 (American Automobile Association) の主催で約一週間に亘り米國東部地方の自動車旅行が行なはれる。第一班は自動車協會寄贈のバスに分乗してワシントンを發し途中ヒラデルヒヤ、アトランチックシティ等を経途中の道路を視察しながら紐育に入るもので行程約一週間を要し哩程約三三八哩

に達する第二班はワシントンから西行しハリスブルグ、ウイリアムポートを経てバファロに出でナイアガラ見物より引返して東行シラキウス、アルバニーを経て紐育に歸るもので日數一週間哩程は一〇一七哩に達する。最後の第三班は其規模最も大なるものでピツバーグ、クリーブランド、シカゴ、デトロイト、ロチエスター、ボストン、ニウハーヘン等の中西部から東部に亘る大都市の大部分を歴訪する者で汽車及びバスにより日數も約十七日を要する大旅行である。

之等本會議視察旅行、博覽會等あらゆる方面から米國の道路を觀察するには恐らく絶好の機會であらう。(終)

福岡縣 縣營碎石事業 (二)

坂本一平

作業の分類及功程

作業概要

作業は採掘、製材、運搬に分れ、製材は悉く機械力に依る關係上、生産量は機械の全能力を定限としなければなら

ないが、機械はいつも全能力を持続し得ない。最近の統計に依れば、實際の製材量は、全能力の七五%を示してゐる。採掘と小運搬は、主として人力を以てしてゐる。

作業種別毎の工程表を掲ぐれば左表の通りである。